

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

(年中組)

幼稚園番号 1974410

園名 子どもの森幼稚園

1. 活動のテーマ

「光」

テーマ設定の理由

園内外には光が多く差し込み、遊びの中で子ども達が興味関心を持てる環境にあるため、遊びの中で子どもの気づきも多く、生活の中野電気・陽・火等の光。保育の中の室内に入ってくる光。自然に恵まれた園庭で見られる光。地域の緑の多い公園での光。水の中や色に見られる光の不思議や疑問の声、子どもの「わくわく」に向き合っ
て、子ども達の不思議や探求心を一緒に楽しめる各学年（3歳児～5歳児）共通のテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

- 4月 絵本の読み聞かせ・光の絵本を見る
- 5月 実験遊び（プリズムレンズ）・キラキラ太陽製作
- 6月 実験あそび（シャボン玉）
- 7月 カクテルパーティー（色水でいろいろな色を作り）
- 9月 ひかりのそら製作（淡く、色を擦り合わせる）
- 10月 ひかりのかさ製作（色の光が降り注ぐこと不思議さを体験）
- 2月 ステンドグラス（素材の違いで光の浸透が変わる体感遊び）

3. 活動の内容

【絵本の読み聞かせ】光の絵本

興味を持って聞く事が出来る。光について今までの、自分の経験を話す。

【プリズムレンズ】プリズムレンズ

顔が変な形になって見える等と話しながらプリズムを覗いて遊ぶ。

【キラキラ太陽製作】金折り紙・糊・糊布巾・クレヨン・画用紙

画用紙にどんな色でもいいから、クレヨンで太陽を描いてみる。その太陽にちぎった、金の折り紙で周りをキラキラさせる。

いろいろな色のクレヨンで一生懸命に塗る姿が見られる

【シャボン玉】シャボン玉液・ストロー・コップ

シャボン玉で遊んだことのある子どもが多く、楽しんでいた。

しゃぼん玉に虹色が見えるよ、と教えてくれる子どももいた。

【カクテルパーティー】コップ・インク・スプーン

カップに光の3原色を入れておき、スプーンですくって色を混ぜ合わせていく。

いろいろな色を混ぜて色が変わっていく様子を楽しんでいた。

【ひかりのそら製作】パステル・画用紙・割りばし・墨汁・カップ

いろいろな色のパステルを画用紙いっぱい塗る。指でそっと撫でると、色が混じって変化していく。そのうえに割りばしペンを墨汁につけ、自分の好きな絵を描く。

パステルが画用紙の上で混ざって色が変わっていく様子を楽しんでいた。

【ひかりのかさ製作】ビニール傘・セロハンシール・花紙・セロハンテープ

ビニール傘にセロハンシールや丸、リボン等形にした花紙貼った。剥離紙を剥がしたセロハンシールを貼っていくが、シールが重なった事で、何色になったか、発言する子どもがいた。

出来上がった傘を、下から光を当て、天井にどの様にうつるか見て楽しんでいた。

【ステンドグラス】クリアファイル・黒画用紙・花紙糊・セロハンテープ

花紙をちぎってクリアファイルに入れていく。クリアファイルをあける時に静電気で花紙がくっつく様子を楽しんだり、重なる色がどの様にうつるか様子を見ながら、花紙が動かない様に糊で止めいく。出来上がったステンドグラスを黒の額縁につけ、光にかざして色の混ざった様子を見て楽しんでいた。

4. 写真



5. 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

年間を通して光というテーマで学んできた事で、子ども達の中でも、光に対する興味がすごく湧いていると感じた。

初めに太陽の光から学び。「太陽の色はどんな色？」という問いに対して私は「オレンジ、赤」しか思い浮かびませんでした。講師が暗い時や明るい時の違いを言葉かけしたことで、子ども達から「ピンク、黒、紫」など様々な色が出て来た。子どもに教える際は様々な視点から伝えていくことを学んだ。色が混ざる事や重なる事でどうなるのか、保育者や講師が伝える前に、子ども達から進んで色の混ざり方を試す姿が回を重ねるごとに増えていた。

クレヨンで色の混ざりや重なりで色が変わる事は知っていた子ども達だったが、カクテルパーティーでは水ではどのような変化をするか分かっていなかった。その為、私は二、三色混ぜて終了となると思っていたが、一色だけでなく何色も混ぜ、最後には混ざった物同士で混ぜ、色の変化を最後まで楽しむ事が出来ていた。子どもたちは保育者の思いつかないことに気づき、興味へと繋げていると感じた。

子ども達は学んだことを、次のすくわくにて実践する姿が見えた。回を重ねるごとに学びながら知識が増えて来たことで、子ども達から先生の問いに対して「何色になる！この前何色だった！」が増えていた。すくわくの時間外でも、色の混ざり方・光が当たるとどのようになるか・影はどのようにしたらできるのか、子どもたちで考えながら楽しむ様子が多くなっていた。保育者も子どもと関わる際に光や影を意識して過ごすようになった。影遊びをして遊んでみたり、園庭にまく水で虹を作ってみたり、様々な活動に取り入れられることが出来た。光は生活の中に必ずあり、どんな天気でも遊ぶことができ、日々感じる事の出来ると改めて感じた。